

競技注意事項

1 本競技会は 2016 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

2 練習について

- (1) 競技開始前の競技場内での練習は、両日ともトラックの競技開始15分前までとする。また、各種目開始前に行う公式練習は、係審判員の指示で行うこと。なお、競技場内での練習は次のとおり規制を設ける。また、すべてのレーン内ではアップに類する jog は禁止する。

1,2レーン	中長距離、競歩	
3,4,5,6レーン	短距離、リレー	*第4コーナーは曲走路からの直走路への侵入に注意
7,8レーン	ハードル	

- (2) 競技開始後の練習はバックスタンド下の雨天練習場またはサブグラウンドを使用すること。投てき練習は指定以外はできない。

3 招集について

- (1) 招集は、メインスタンド北口の招集所で行う。
 (2) 招集時間はトラック競技は競技開始30～20分前、フィールド競技は競技開始50～40分前（棒高跳は100～90分前）とする。
 (3) リレー競技に出場するチームは、予選・決勝とも招集完了時刻の1時間前までに招集所にオーダー用紙を提出すること。時間内に提出のないチームは棄権したものとす。

4 棄権について

- (1) 競技会の円滑な運営のため、競技者は棄権を極力避けること。
 (2) やむをえず棄権する場合は、必ず棄権届け(用紙は招集所)を大会総務まで提出すること。
 (3) プログラム記載された選手が理由なく出場しなかった場合は、本協会の主催または主管する競技会への出場を以後認めないことがある。

5 ナンバーカードについて

- (1) 登録番号を明記したナンバーカードを胸・背につけること。（跳躍競技はどちらか一方でよい）
 (2) トラック競技の腰ナンバーカードは、招集所で受け取り、パンツの右側のやや後ろにつけ、終了後ゴール地点で係員に返却すること。ただし、ホームストレートを逆送する場合は、パンツの左側とする。
 (3) 3000m以上の種目では別ナンバーカードを使用する。招集所で受け取り、終了後ゴール地点で係員に返却すること。

6 競技について

- (1) 参加者数により、予選を行わなくなった場合は、決勝の時間に決勝を行う。
 (2) スパイクピンの長さは9mm以下とする。ただし、走り高跳とやり投は12mm以下とする。
 (3) 400mまでの競技で同タイム者が多くレーンが不足する場合、全ての同タイム者の抽選によって決定する。
 (4) トラックレースで行われるタイム決勝は、決勝全レースのうち成績上位者（チーム）に中国選手権出場資格（1～8位）を与える。なお、決勝の番組編成は予選の成績順に編成する。
 (5) スタートは1回目の不正スタートで失格とする。合図はイングリッシュコマンドを使用する。
 (6) 競技運営上、計測ラインおよびバーの上げ方は次のとおりとする。（天候により変更する場合もある）

種目	男子	女子
走高跳	1m80より5cm刻み	1m40より5cm刻み
棒高跳	3m40より20cm刻み	2m00より20cm刻み
走幅跳	6m30	4m80
三段跳	13m00	9m00
砲丸投	10m00	8m00
円盤投	30m00	
ハンマー投	30m00	
やり投	45m00	

- (7) 女子三段跳の踏切板は、砂場から9mと11mの2ヶ所を設ける。

7 用器具について

自己の器具を使用する場合、競技開始1時間前までに用器具係の検定を受けること(器具庫Aにて)。ただし、合格した器具は全競技者が使用できるものとする。

8 表彰について

表彰(1位～3位)を競技終了後ただちに行うので、成績発表後3位までの入賞者は本部表彰控席に集合すること。都合により出席できない場合は、必ず代理人を出すようあらかじめ準備しておくこと。但し、国体種目の少年の部は表彰を行わない。

9 競技場の入退場について

- (1) 入退場は競技役員の指示に従って整然と行う。
 (2) 競技者以外はトラック・フィールドに立ち入ることはできない。
 (3) トラック競技の選手は、レース終了後は第1コーナーまたは第4コーナーのゲートより退場すること。
 (ただし、1500m,3000m,5000m,4×100mRを除く)

10 その他

- (1) 競技場の自己については、主催者側は応急処置のみとし、以後の責任は負わない。
 (2) 本大会は、日本選手権の第1次予選を兼ねる。また、国民体育大会陸上競技の広島県選手選考の対象とする。
 (3) 高校生以外の一般選手で記録証明書を希望するものは、競技開始1時間前に大会受付に必ず文書で申し込むこと。
 (4) 8位までの入賞者は、8月20日(土)～21日(日)に岡山市で開催される第70回中国五県陸上競技対抗選手権大会に出場することができる。希望者は大会要項を受付で受け取り、各自で申し込むこと。(メールでの申し込み)
 (5) 少年男子B110mH：高さ 0.991m インターバル 13.72m 9.14m 14.02m
 少年女子B100mYH：高さ 0.762m インターバル 13.0m 8.5m 10.5m
 少年男子B砲丸投：重さ 5.0kg